

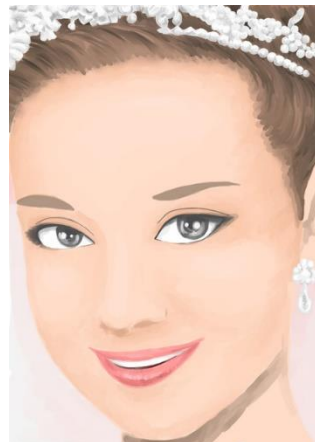
オードリー・ヘプバーンの言葉から

For beautiful lips, speak only words of kindness.

(美しい唇であるためには、美しい言葉を使いなさい)

For beautiful eyes, look for the good in others.

(美しい瞳であるためには、他人の美点を探しなさい)



seiga.nicovideo.jp より

オードリー・ヘプバーンは、『ローマの休日』で有名なハリウッドスターだ。

物語は、ある国の王女である彼女が王女としての職務に疲れ、ローマを訪問中にお忍びで夜の街を楽しんでいる際、王女の動静を取材しているアメリカ人の新聞記者（グレゴリー・ペック）と出会い、恋に落ちるという映画だ。

長く美しい髪を街のサロンでバツサリとカットするシーン、ローマにあるスペイン広場でジェラートを楽しむシーン、ベスパ（スクーター）に二人乗りしてローマの街中を駆け巡るシーン、その記者がローマにある「真実の口」に手を入れて、その手をジャケットの袖の中に引き込んで手を食いちぎられたようにみせるいたずらをして、王女がまんまと引っ掛かるシーンなどが有名だ。

そんな彼女の言葉として、上記の言葉が残っている。美しい唇、美しい瞳を持ったオードリー・ヘプバーンが言うと説得力がある。他人の美点を探しなさいというのは、難しくない。どんな人にも必ずいいところはあるのだから、他人のあらさがしをするのではなく、尊敬できるところを探して、自分にも取り入れようとする事だろう。

一方、美しい言葉とは何か。敬語を使って相手に敬意を表すこともあるだろう。誹謗・中傷の言葉ではないことは確かだ。他にも思い当たることはあるか。考えてみてほしい。

彼女の言葉に現代の問題として一つ付け加えたい。

For beautiful fingers, text only words of tenderness.

(美しい指であるためには、優しい言葉だけをうちなさい。)

メールやLINEの文字は、表情が見えず、ニュアンスが伝わりにくいこともあり、ややもすると誤解を招くことがある。送信する前に、「これで送っていいかな」と一旦読み返してみることをお勧めする。炎上する前に・・・。

晩年彼女は、アフリカ、南米、アジアの恵まれない人々への援助活動にユニセフ親善大使として献身した。ちなみに1月20日は彼女の命日であった。

3年生お疲れさまでした

3年生諸君は、1月28日（金）で最終の試験も終わり、2月は自由登校になる。コロナの感染拡大、蔓延防止措置の中、まだ受験を控えている皆さんは、体調管理を徹底して、全力を出し切ることができるよう心から応援している。最後は、その粘りと強い意志が幸運を引き寄せる。

進路が決まっている人ももちろん健康管理を徹底して、2月26日の卒業式に向けて準備を整えてほしい。無いとは思いますが、変なことに巻き込まれて、人生を棒にふるようなことが無いよう、また担任を煩わせて、結果的に進路がまだ決まっていない人の足を引っ張ることの無いよう、有終の美を飾ってほしい。

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩